

平成21年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】（第2回）

※ 調査名称の変更等:「民間住宅ローン利用者の実態調査」のうちフラット35利用者の状況については、本年度から別途集計して公表します。

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター88万件に対して調査対象の要件確認を行い(11/6～11/10)、これに応じた59万件のうち平成21年7月から平成21年10月の間に民間住宅ローンを借入された方1,588件に、インターネットによるアンケート調査(11/11～11/15)を実施し、各月毎に先着順に回答があった民間住宅ローン利用者1,202件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者120件について集計を行った。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n=1202)

うちフラット35利用者 n=120

うちフラット35以外 n=1082

- ・平成21年7月から平成21年10月までに民間住宅ローンを借入れされた方
- ・居住用の新規の民間住宅ローン(除く:借換え、リフォーム、土地のみの融資、アパートや投資用のローン)
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方(除く:学生、無職)

3. 調査時期 平成21年11月11日～11月15日

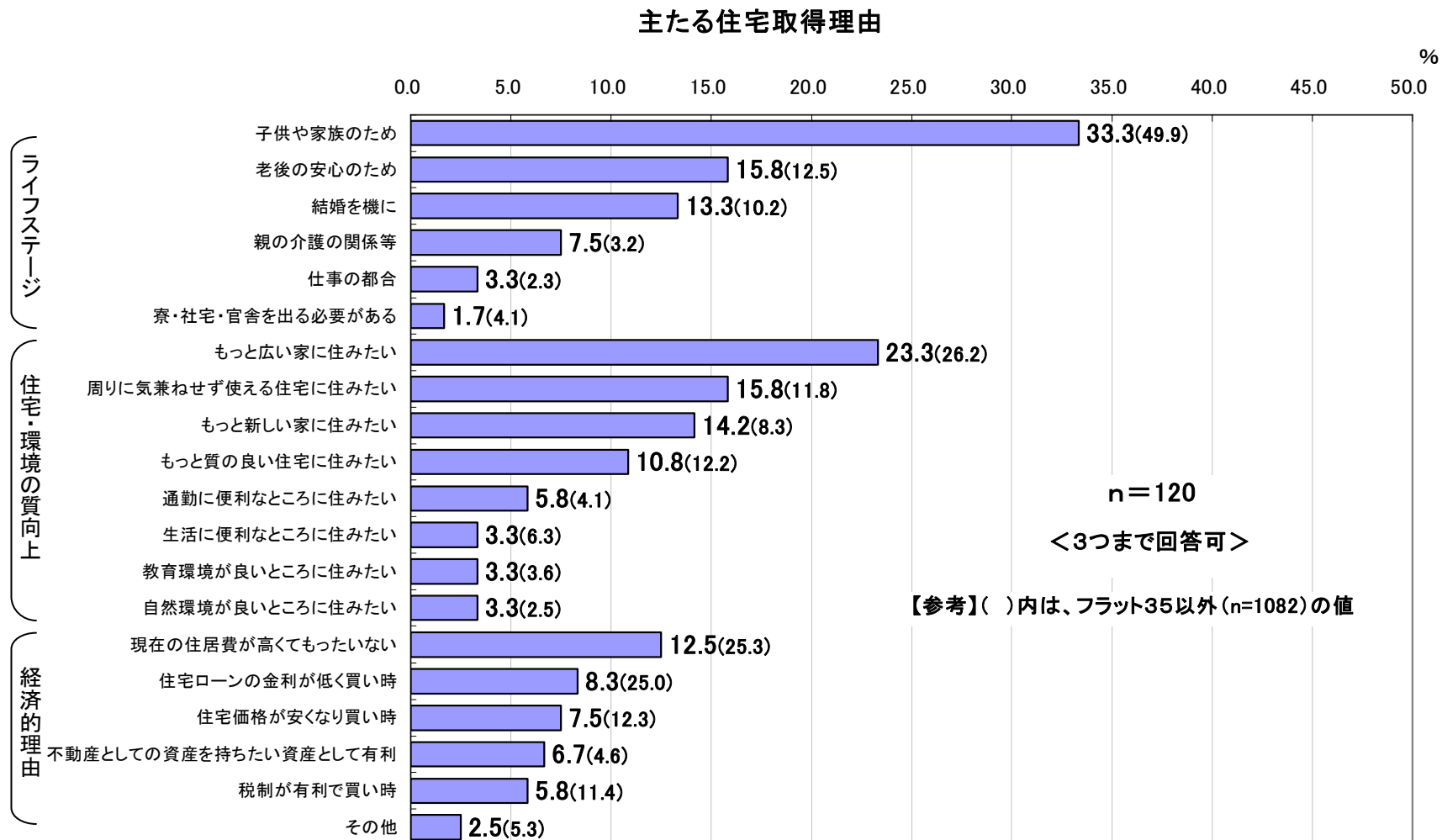
4. 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選に関する事項等
(「フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等」の項目等は、従来の「フラット35利用者の意識・顧客満足度調査」の継続調査です。)

平成21年12月24日
独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅総合調査室

調査結果

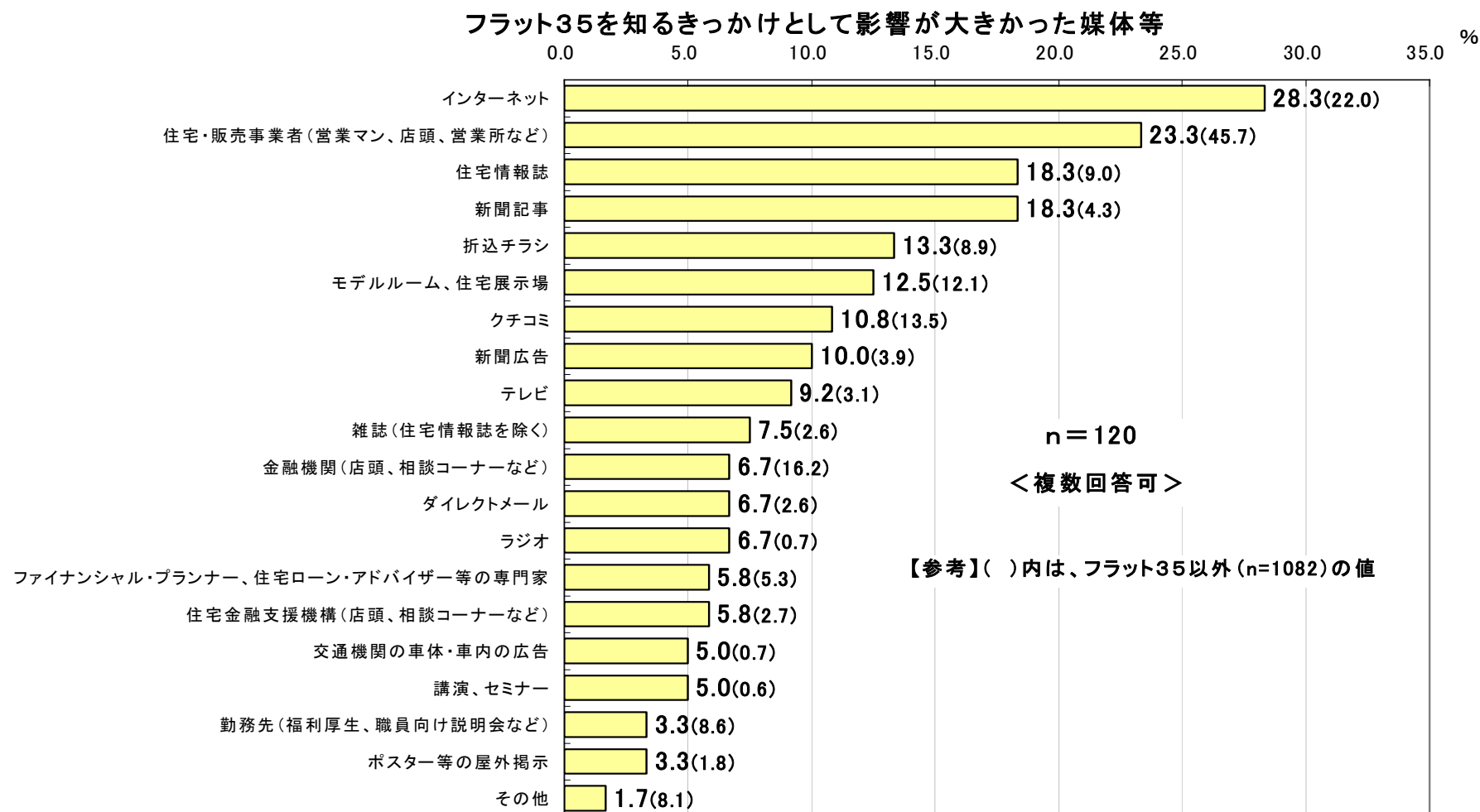
1. 主たる住宅取得理由

フラット35を利用された方の主たる住宅取得理由は、「子供や家族のため」という理由が最も多く33.3%、次いで「もっと広い家に住みたい」が23.3%となっている。経済的理由としては、「現在の住居費が高くてもったいない」が12.5%と多いがフラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答に比べると回答割合は低くなっている。



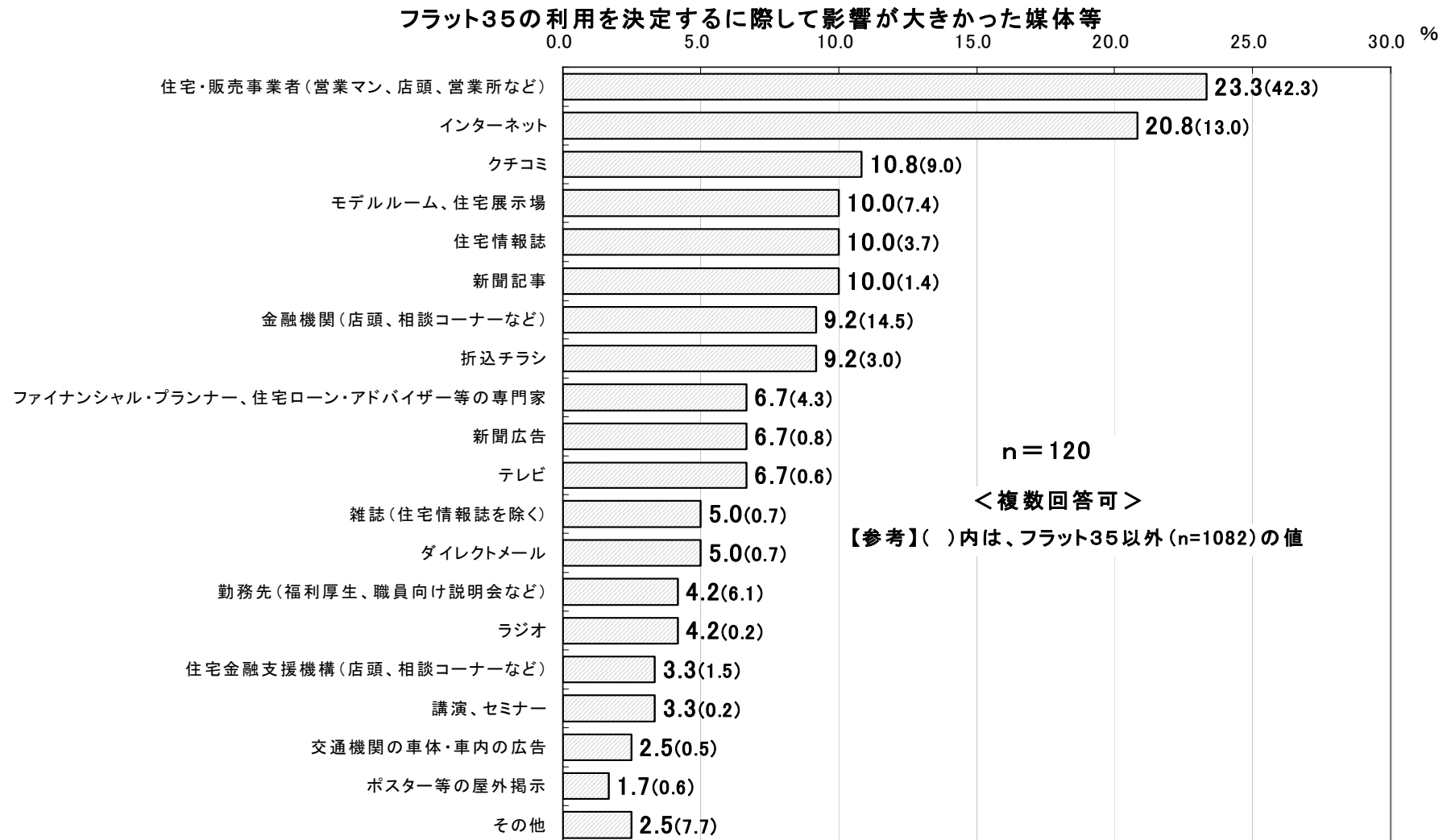
2. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

フラット35を知るきっかけは、「インターネット」が28.3%と最も影響が大きく、次いで、「住宅・販売事業者」が23.3%。「住宅情報誌」「新聞記事」等各種メディアもフラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答と比べ影響が大きい。



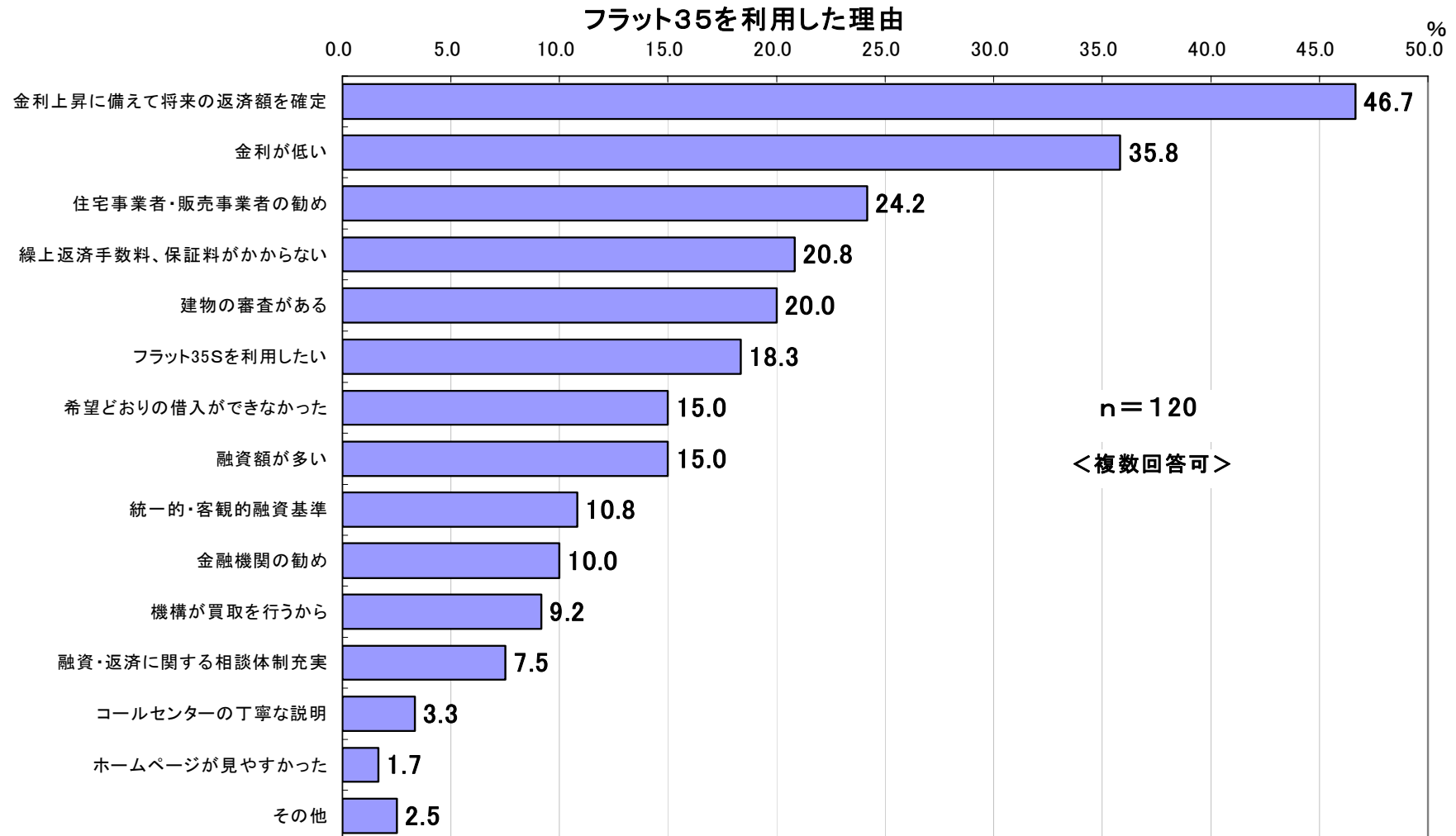
3. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

フラット35の利用を決定するに際しては、「住宅・販売事業者」が23.3%と最も影響が大きく、次いで、「インターネット」が20.8%となっており、フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答と比べインターネットの影響が大きい。



4. フラット35を利用した理由

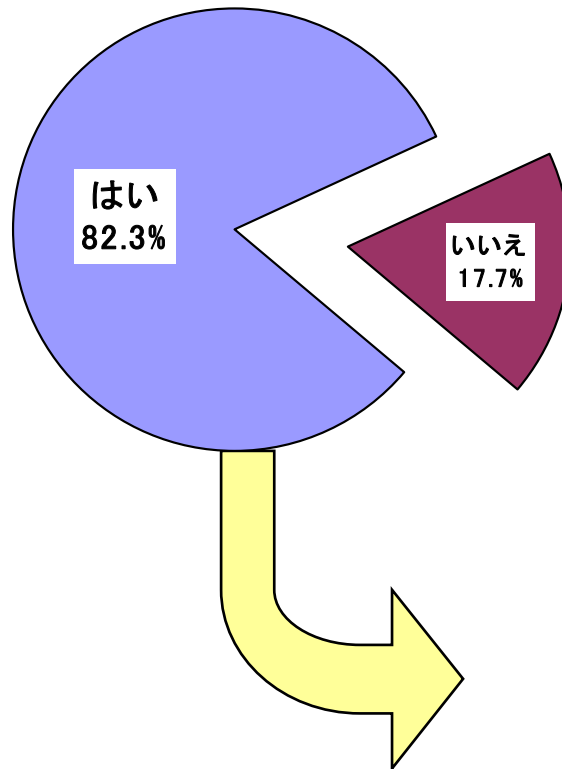
フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」したいとする回答が46.7%と最も多い。次いで「金利が低い」とする回答が35.8%となっている。



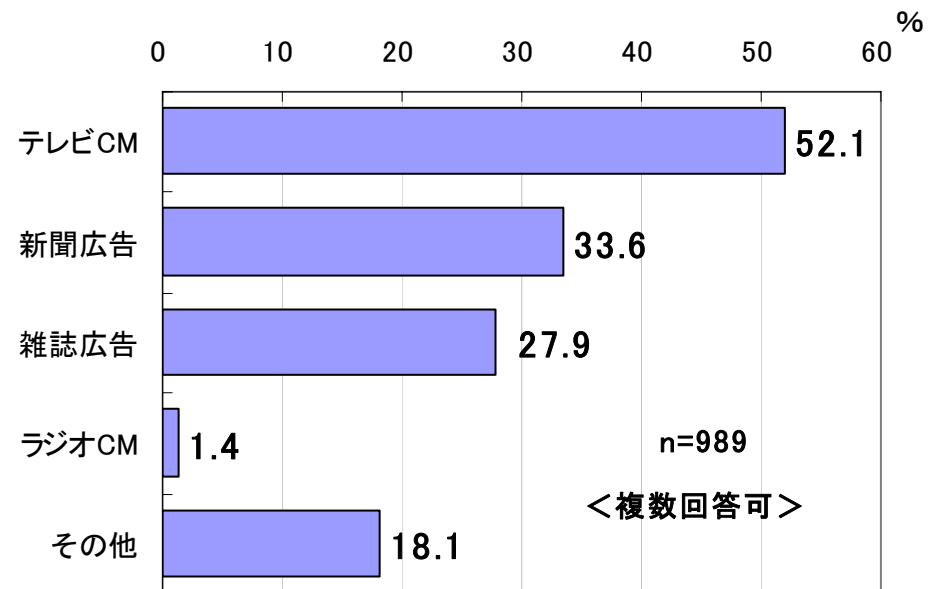
5. フラット35の広告認知度・認知媒体（民間住宅ローン利用者全体）

フラット35の広告を見聞きしたことがある方は、全体の82.3%を占めている。
見聞きした広告では、「テレビCM」が52.1%、「新聞広告」33.6%、「雑誌広告」27.9%がそれに次いでいる。
なお、「その他」では、インターネットが「その他」の回答の約半数を占めている。

フラット35の広告を見聞きされたことがありますか（n=1202）



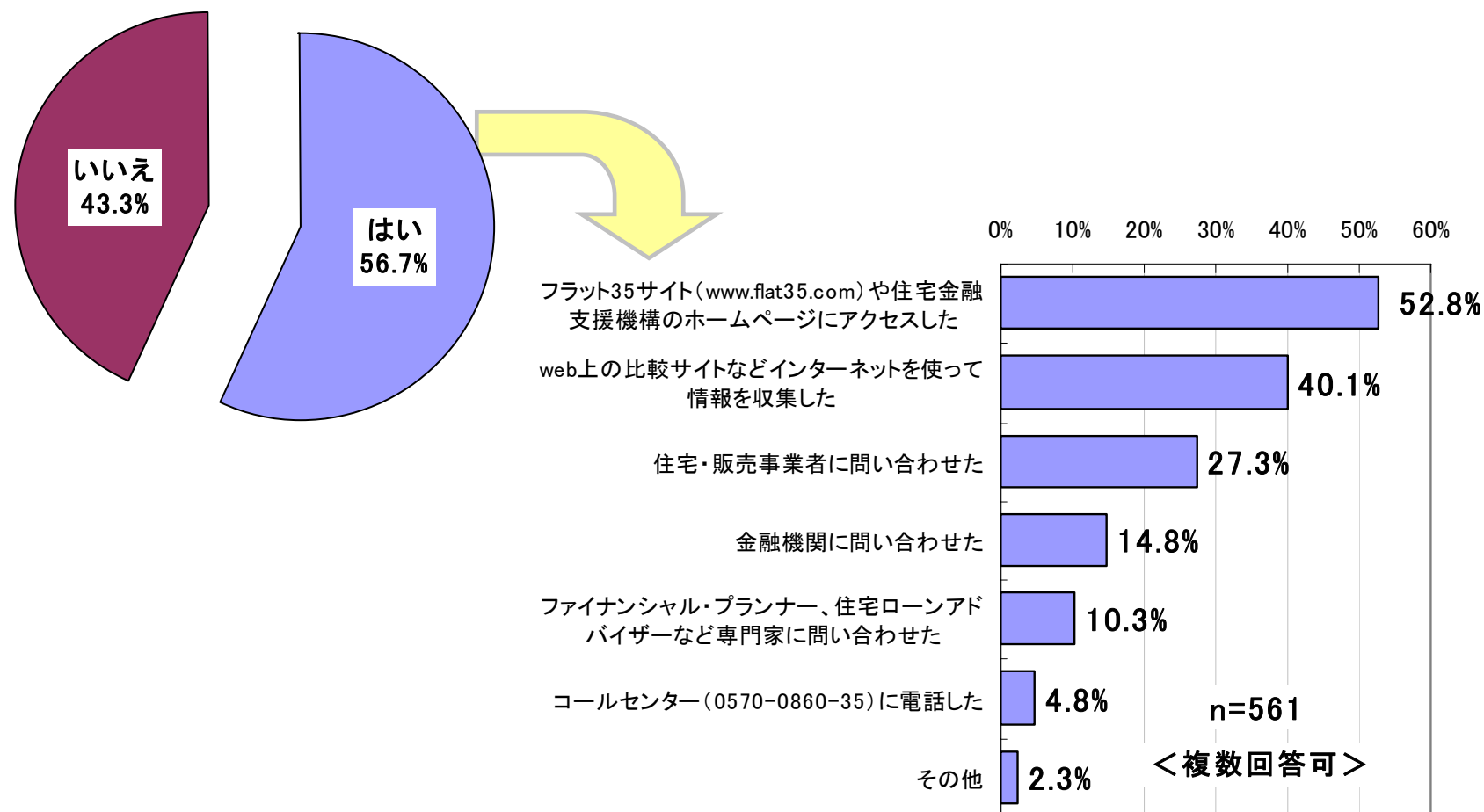
フラット35の広告は何から見聞きされましたか。



6. フラット35の広告認知後の行動（広告を見聞きされた方）

フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと行動された方は56.7%。
さらに詳しい情報を得ようとした場合で多いのは、「フラット35専用サイトへのアクセス」が52.8%、次いで「インターネットの比較サイトなどでの情報収集」が40.1%となっている。

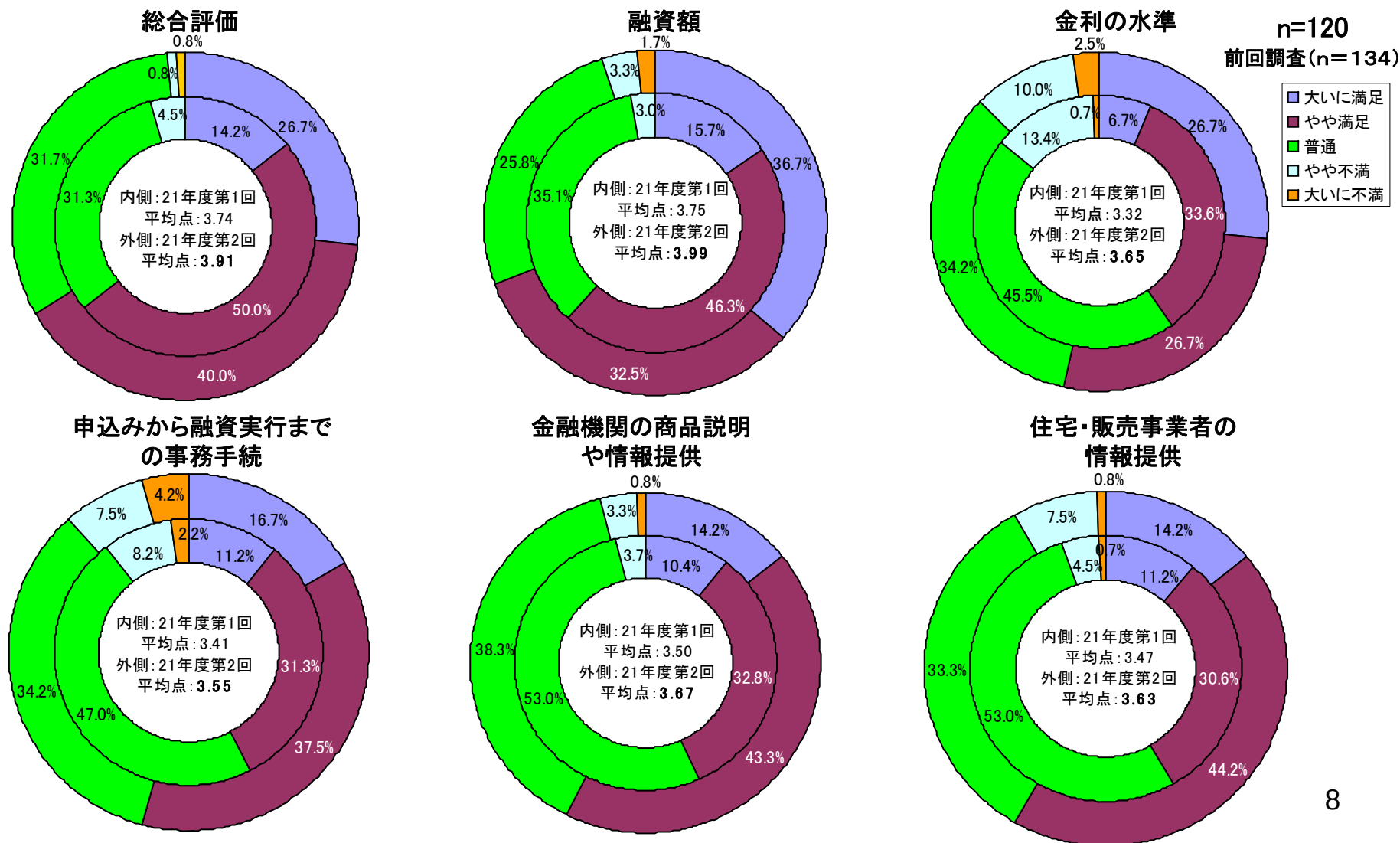
フラット35の広告を見聞きされた後、
さらに詳しい情報を得ようとしたか（n=989）



7. フラット35に対する満足度

フラット35に対する満足度を5段階評価で尋ねたところ、総合評価では「大いに満足」+「やや満足」が66.7%、平均点では3.91と前回調査よりも満足度は高まっている。項目別では「融資額」の満足度が平均3.99と一番高い。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点



【参考】 回答者の基本属性
【フラット35利用者】 n=120

項 目		サンプル数	構成比(%)
年 齢	20歳代	17	14.2
	30歳代	45	37.5
	40歳代	29	24.2
	50歳代	29	24.2
世帯年収	400万円以下	12	10.0
	600万円以下	25	20.8
	800万円以下	27	22.5
	1000万円以下	15	12.5
	1500万円以下	17	14.2
	1500万円超	24	20.0
地 域	首都圏	64	53.3
	東海圏	9	7.5
	近畿圏	11	9.2
	その他	36	30.0
住宅の種類	注文新築	66	55.0
	(うち敷地同時取得)	14	21.2
	注文建替え	6	5.0
	新築建売	4	3.3
	新築マンション	29	24.2
	中古戸建	5	4.2
	中古マンション	10	8.3
返済負担率	10%以内	31	25.8
	15%以内	27	22.5
	20%以内	29	24.2
	25%以内	17	14.2
	30%以内	6	5.0
	35%以内	7	5.8
	40%以内	3	2.5
	40%超	0	0.0

注： 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外